

Oauへの想い

〜創刊によせて〜



私は長い間、アパレルのお仕事をしていました。

ファッションの仕事はおもしろくて、それは、たとえるなら風のようなところがありました。

やってきては去っていく…そんな感じで、いつも最先端のトレンドを追っていました。2月には春の洋服をまとい、8月には秋の洋服を身につけ、寒かろうが暑かろうが関係ありません。

でも、それはまだいい方です。

オミスティのミスティカといったティーチャータちは、それまでの世間に合わせたわたしではなく、本来のわたしへと導いてくれました。

そして、そこにはいつも愛がたくさんありました。

あたたかい空間のなかでは、これまでの自分を出すことへの恐れよりも、自分を出す喜びの方がまさっていました。

自分が欲していたものは、トレンドでもなんでもなくて、愛のなかで本当の自分を生きることでした。

そのことをティーチャータち、そしてその源であるOSHIOから受け取っていただきました。

それは、和尚アートユニティでお仕事をしている今でも変わりはありません。

今はサトルボディヒーリングやハート瞑想のリーラ、ブラサードやアルヴィナ、そして書籍『死について41の答え』を編

ファッションショーでは半年先の洋服を、そのショーが終わると、そのまた半年先の洋服を企画していきます。いつも未来を追いかけて、季節とま逆の素材がまわりにあふれていて、言うなれば、朝夜逆転のような不自然さでした。

アパレル業界は「不夜城」と言われるほどに残業も多く、いつしか1日2食(ランチと夕食)のお弁当をつくって、終バスで帰るような生活をしていました。

毎日、へとへとになるまで働いて、それは過酷でしたが、同じぐらいにたのしいこともたくさんありました。

一流のフォトグラファーやヘアメイクの方々、芸能人やパリコレに出るようなスーパームデルたちとお仕事をして、海外ロケやCF撮影、雑誌の仕事もたくさんしました。

そこから得られたクリエイティブな現場での体験や刺激的な出会いは、今でも忘れられません。いつも最先端の場所や会話にかこまれて、とても華やかでした。

集めたマニッシュと、さらに多くのティーチャータちから学びの機会を得ています。

一生の学びを、今ここでしています。

会社にお勤めしている方、家庭で家事をこなしている方、いろいろな方がいらっしやると思いますが、わたしたちはみな「自分が誰なのか？」を知りたいのではありませんかと思っています。

このマガジンが、その案内人のような役割を担うことができれば、とてもうれしく思います。

では、最後にちょっと秘密の話を…。

和尚アートユニティでの仕事が終わって、帰るときのごあいさつは「お疲れさま」ではなく、「おたのしみさま」なのです。

「好きなお仕事だから疲れないでしょ？」とのこと。これには参りました。(笑)

しかし、いつのころからか「このままでいいのかな？」という疑問を持つようになりました。だんだんと、そんな世界が自分に合わなくなってきたのです。

ちょうど、そのころに出会ったのがオーラソーマ。カラーケアシステムでした。

うつくしいものが好きでアパレルの世界に入ったので、百十本を越えるイクリブリアムボトルはとても魅力的で、あっというまに魅了されました。

6日間のコースを終えるたびに「もっと学びたい」と思うようになりました。

それは単なる色の知識としての学びではなく、自分を知るといって、魂の探求をするものだったからです。

学べば学ぶほどに、あたらしい自分へと出会っていきました。

オーラソーマのヌラやコマラ、ハートからのカウンセリングのラハシャ、ユニ

これまでのアパレル時代では、どんなに夜遅くても、あいさつは「おはようございます」でしたし、業界の常識で呼び名は「遠藤ちゃん」だったのが、こうも変わるなんて。

では、みなさま、Oauマガジン創刊0号をおたのしみくださいね。

えつこ

遠藤悦子

2005年よりオーラソーマを学び、2012年にティーチャーコース3を修了。オーラソーマカラーケアコンサルタント。

現在、和尚アートユニティワークショップ部スタッフとして勤務。ブログ「えつこの部屋」ではスタッフ日記を公開中。

<http://ameblo.jp/nobara-rose/>

写真の“歯磨きわんこルナ”は、Oauクラブのサイトにて公開中。
<http://oauclub.jp/> (7月中旬公開予定)